

ステークホルダー(関係団体など)との連携

岡山地域のネットワーク

岡山ESD推進協議会

岡山ESD推進協議会は、将来の岡山と世界について、共に学び、考え、行動する人が集う地域を目指し、持続可能な地域づくりに取り組む市民団体や教育機関、企業、行政などで構成される組織です。多様なステークホルダーをネットワークで結び、岡山地域の特性に応じたESDを効果的に推進することで、SDGsの達成に貢献します。(登録団体数2020年10月末時点317団体)



国内外のネットワーク

岡山連携中枢都市圏

岡山県内の8市5町と連携協約を締結し、協働で持続可能な社会の形成や住民サービスの維持、地域経済の活性化などに取り組んでいる。

国連大学サステナビリティ高等研究所

持続可能な未来の構築を目指す、先導的な研究・教育機関で、広範な分野の研究者と提携機関の世界的ネットワークを活用し、地球規模課題の解決に取り組んでいる。

海外の関連団体

岡山市は、2005年からESDに取り組むユネスコのグローバルネットワークのほか、RCE(ESD地域拠点)の世界的ネットワークに参加し、SDGsの目標を地域レベルで実践している。

SDGsの普及啓発の取組

未来わくわくSDGsフェスタ

市域全体のSDGsの理解を深めるため、多くの市民が集う商業施設等においてステージ発表やワークショップ、展示等によるイベントを開催。日々の暮らしとSDGsの関わりについて、新たな気づきと実践行動に繋げていく。



SDGsフォーラム

岡山地域の多様なステークホルダーが集い、SDGsの達成に向けた取組の共有と未来につながるアクションを議論するフォーラムを産官学民が連携して開催。2030年に向けた岡山地域の活性化と活動の相乗効果を図っていく。



お問い合わせ

岡山市市民協働局市民協働部 SDGs・ESD推進課 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1

E-mail esd@city.okayama.lg.jp Tel 086-803-1351 Fax 086-803-1777

(令和2年12月作製)



SDGs未来都市おかやま

～岡山市の持続可能な社会づくりを目指す取組～



SDGsは世界の未来への道しるべ

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標です。気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指し、世界全体で明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



岡山市

なぜ、岡山市はSDGsに取り組むのか

自治体がSDGsを活用することにより、政策の目標や課題が明確化され、地方創生に向けた課題解決と地域活性化を一層促進することが可能となります。さらに、SDGsという共通言語を持つことにより、産官学民の連携が図られ、パートナーシップの深化が実現します。

また、岡山市では2005年からESD（持続可能な開発のための教育）に取り組んでおり、地域とともに持続可能な社会づくりを推進してきました。今後も、これまで取り組んできたESD活動の成果を活かし、「ESDはSDGsのすべての目標達成の鍵」であるという考えのもと、ESDの推進によりSDGs達成に取り組んでいきます。



これまでの持続可能な社会づくりの取組

岡山市の動き

- 2005 岡山ESDプロジェクト開始
岡山ESD推進協議会設置
国連大学からRCE(ESD地域拠点)に認定
- 2007 公民館事業方針に「ESDの推進」規定
岡山大学と岡山市がESD協定を締結
- 2014 ESDに関するユネスコ世界会議
(5つのステークホルダー会議)を開催
- 2016 「岡山ESDプロジェクト」がユネスコ/日本ESD賞受賞
- 2017 ユネスコ学習都市賞受賞
- 2018 国からSDGs未来都市に選定
- 2020 「岡山ESDプロジェクト」の新たな基本構想策定(予定)
SDGsアワードの開始

世界の動き

- 2000年 ミレニアム開発目標(MDGs)策定
- 2002年 持続可能な開発に関する世界サミット
- 2005年 国連ESDの10年開始
- 2012年 国連持続可能な開発会議(リオ+20)
2015年以降の新たな開発目標が合意
- 2015年 ESDの新プログラム(GAP) スタート
国連持続可能な開発目標(SDGs)採択
- 2019年 国連総会で「ESD for 2030」採択

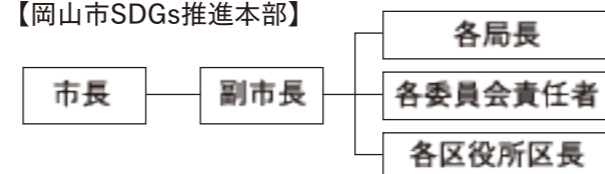
日本政府の動き

- 2016年 SDGs推進本部を設置
- 2017年 SDGsアクションプラン策定
ジャパンSDGsアワード創設
- 2018年 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム設置
- 2019年 国連SDGsサミットで日本の取組を発信

体制づくり

SDGsの多様な目標の達成とともに、経済・社会・環境に関わる幅広い取り組みを進めるため、岡山市では2018年7月に「岡山市SDGs推進本部」を設置しました。行政体内で横断的な執行体制を整備することで、SDGsの視点による取組を効果的に推進していきます。

【岡山市SDGs推進本部】



《幹事会》所掌事務の個別事項検討(各局次長、主管課長)

各種計画への反映

岡山市では、「岡山市第六次総合計画」を2021年度に改定し、SDGsの要素を取り入れます。他にも「岡山市立公民館基本方針」をはじめ、「岡山市多文化共生社会推進プラン」、「岡山市生物多様性地域戦略」等にSDGsを反映させており、今後も、各部署と連携しながら計画への反映を検討・実施していきます。

SDGs達成に向けた岡山市の主な取組

岡山ESDプロジェクト推進事業



岡山市では、国連ESDの10年が始まった2005年に岡山ESD推進協議会を設立し、岡山地域における持続可能な社会づくりを目指したESD活動を推進していくため、「岡山ESDプロジェクト」を開始しました。

岡山ESDプロジェクトの目標

- 岡山地域に暮らす全ての人々が持続可能な社会づくりに対する知識や理解を持つ。
- 持続可能な社会づくりに主体的に取り組む人の輪を地域全体に広げる。
- ESDを推進する各組織を育成し、能力を高める。



岡山地域では、公民館やユネスコスクール等の学校を拠点として、各コーディネーターの活躍のもと、各地域の特性に応じたESD活動を展開しています。また、国内外の優良事例を顕彰するESD岡山アワードをはじめ、フォーラムや研修事業等を実施し、社会課題の解決に向けた学びと実践の機会を設け、SDGs達成につながる人材育成を進めています。



健康づくりと生涯活躍推進事業



市民の健康寿命の延伸を目指して、地場を中心とするヘルスケア関連企業や健康経営に取り組む市内企業、地銀とともに、SIB手法を活用した「おかやまケンコー大作戦」を2019年4月から開始しました。岡山市内の様々なお店や施設で健康につながるサービスを受けることで、ポイントがたまり、健康な体と魅力的な特典を手に入れるプログラムです。

また、「AIを活用した将来疾病リスクの見える化」や「生涯活躍のための就労支援」に取り組み、健康の好循環を促進します。



環境にやさしい交通ネットワークの構築



県庁通りの歩道拡幅等の歩いて楽しい道路空間の整備をはじめ、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ、交通不便地域における生活交通の確保、バス車両及び停留所のバリアフリー化等のバスの利用環境の向上、自転車走行空間の整備やコミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進等の自転車先進都市おかやま事業等に取り組むことで、自動車への過度な依存から脱却し低炭素社会にも適切に対応する環境にやさしい交通ネットワークの構築を図ります。

